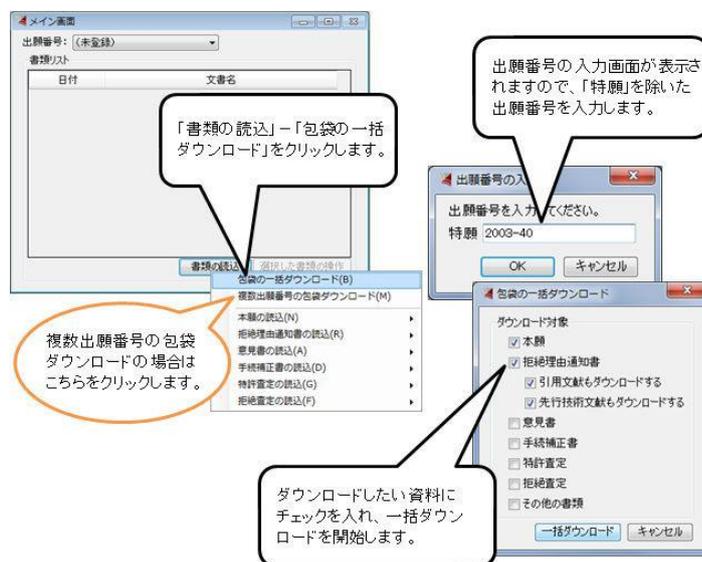


活用イメージ

1. 拒絶引例等包袋資料を一括ダウンロード！



2. 審査官が指摘している引用文献の箇所をワンクリック表示！

拒絶理由通知書 (2007/11/13) 【特願2003-40】

リンクされた語句をクリックすると、該当の引用文献を表示します。

【請求項2について】
引用文献1の【図1】に記載された口作動スイッチ3a及び3bは、唇によって操作されるものであることから、当該口作動スイッチ3aよりもコード側部分は口の外に出た口外部であると認められる。
また、引用文献2の【図7】には、口外部である筈が記載されている。

【請求項13について】
引用文献1の段落【0025】には、入力デバイスが防水されていることが記載されている。

拒絶理由(特願2003-40:2007/11/13)の引用文献1(特開平10-124243号)

段落番号にもリンクが張られますので、審査官の指摘箇所を読み解き易くなります。

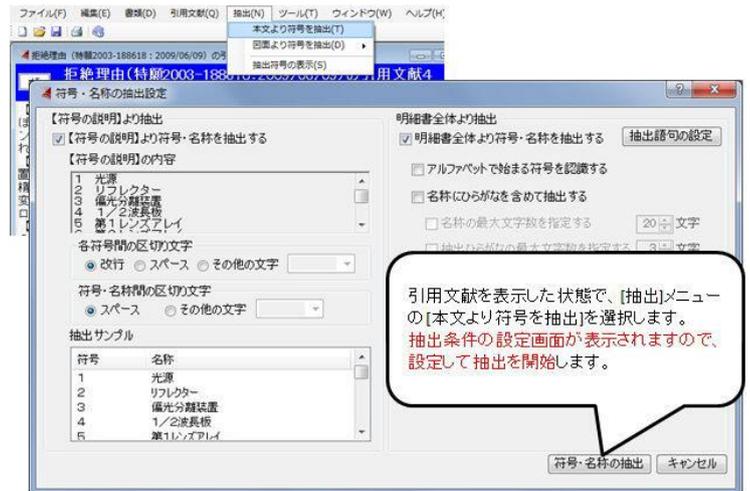
図面 - 拒絶理由(特願2003-40:2007/11/13)の引用文献1(特開平10-124243号)

審査官が指摘している図面を瞬時に表示することができます。

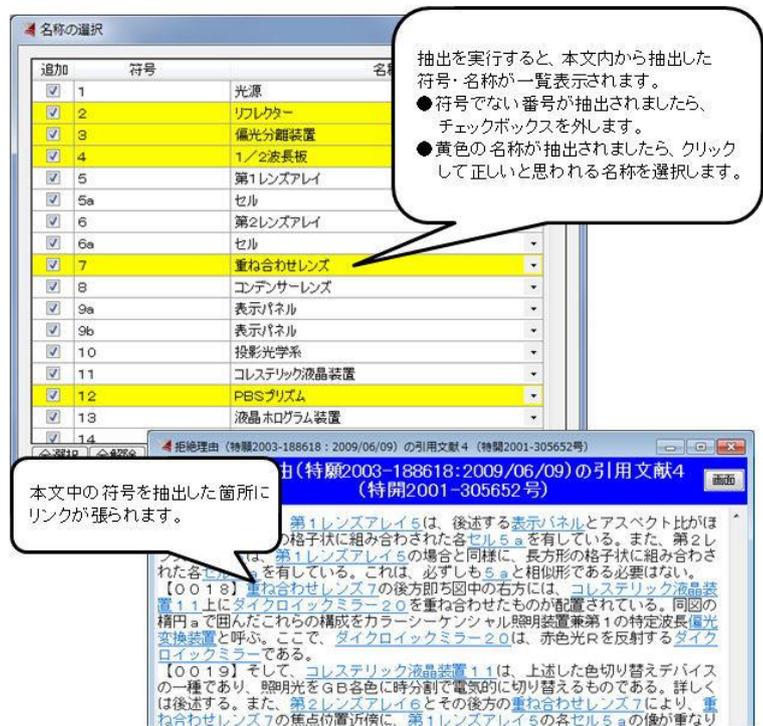


3. 引用文献の本文から符号・名称を抽出

(1) 抽出条件の設定

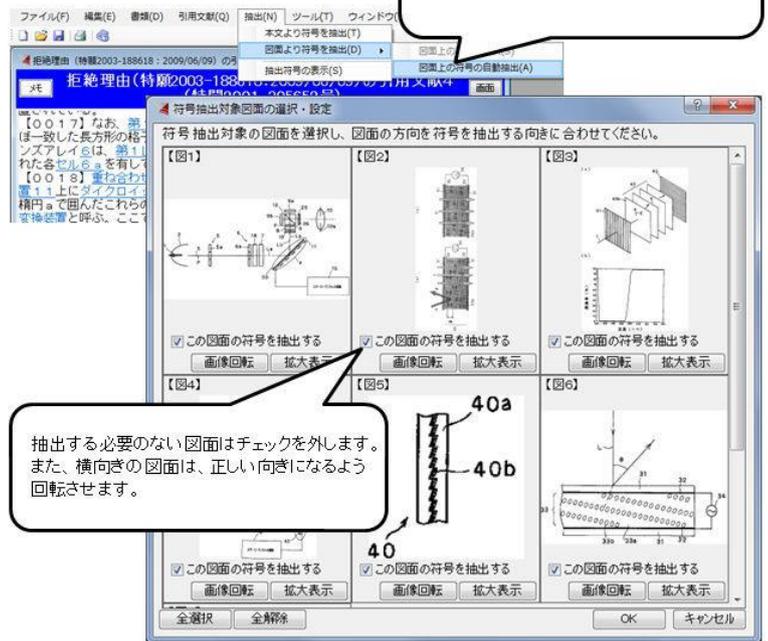


(2) 抽出した符号・名称のチェック

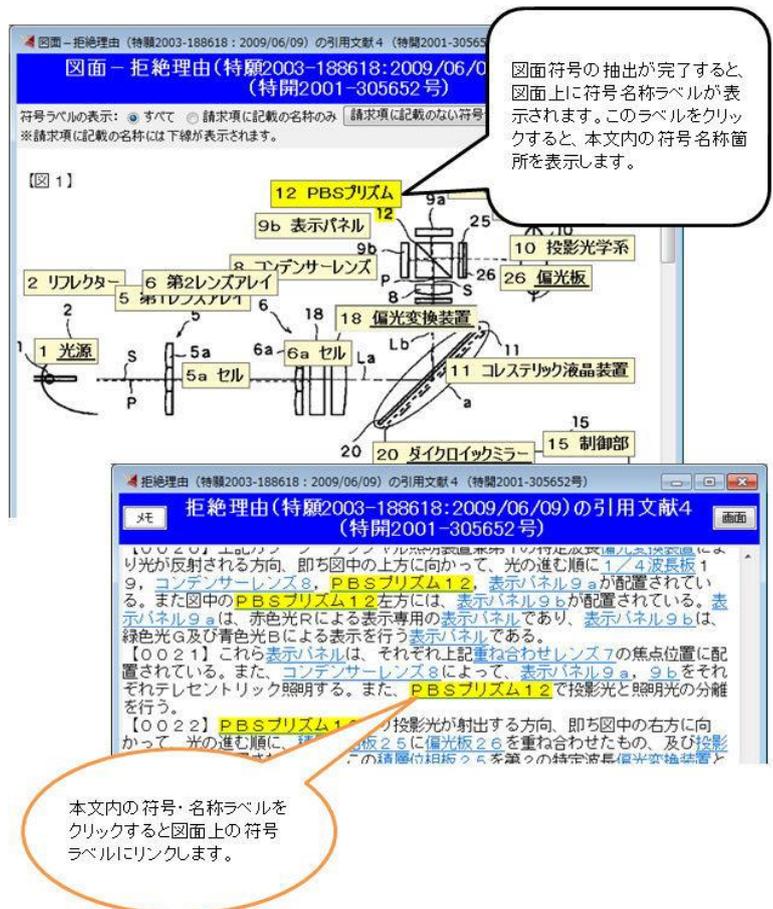


4. 図面上の符号・名称ラベルと本文内の の名称との相互リンク

(1) 図面より符号を抽出



(2) 符号ラベルの表示と、本文内の符号・名称との 相互リンク



5. 引用文献を多面的に一括してキーワード検索！

(1) 通知書内の文章をドラッグし、引用文献内を検索。検索結果と引用文献内は段落表示されます。

審査官によっては、**拒絶理由の箇所が引用文献のどこなのか不明確**場合があります。そのような場合でも、**語群検索で探索**することができます。(但し、引用文献がHTML形式のものに限ります)
 まずは、拒絶理由で指摘されている文章をドラッグします。

選択した範囲内の語句を元に、対象の引用文献を検索します。

(2) 語群検索の結果と引用文献内の段落表示

引用文献内でヒットした語句が多い順にリストアップされますので、クリックして引用文献の該当箇所を開き、審査官の趣旨を把握します。

引用文献の各段落の内容	合致語数
【特許請求の範囲】【請求項1】2次元以上の連続変動信号を入力す...	6
【0025】柔軟で無毒・水密性・弾力性・対裂強度があり水洗可能な材...	5
【請求項2】2次元以上の連続変動信号を入力する入力デバイスにおい...	4
【発明の詳細な説明】【0001】【発明の属する技術分野】本発明は、...	4
【0021】舌で操作する操作スティックは、スティック棒5と、舌と接触して...	4
【0032】柔軟で無毒・水密性・弾力性・対裂強度があり水洗可能な材...	4

拒絶理由(特願2003-40:2007/11/13)の引用文献1 (特開平10-124243号)

拒絶理由(特願2003-40:2007/11/13)の引用文献1 (特開平10-124243号)

拒絶理由通知書内で選択した文章内のヒット語句がハイライトされます。

引用文献内の該当箇所を開くと上記でハイライトされていた語句がここでもハイライト表示されます。

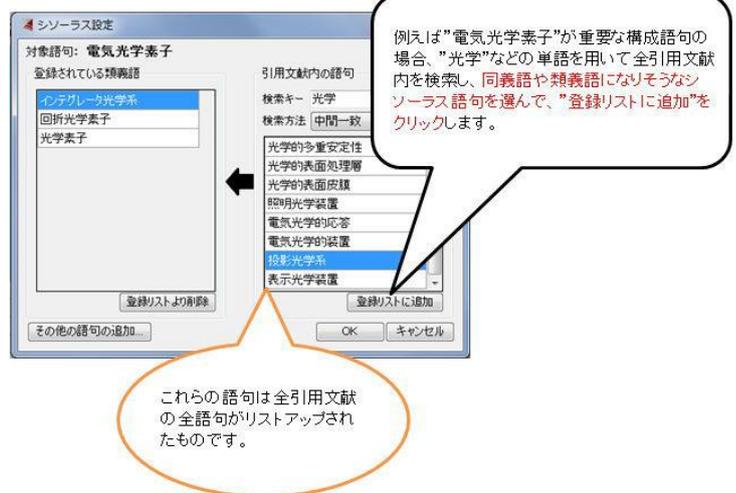


6. 拒絶回避できそうな構成語句をリストアップし、シソーラスで分析!

(1)シソーラスリンクで本願語句と引用文献を比較。



(2)本願重要語句にシソーラスをリンク



(3)シソーラスリンクされた重要語句で再抽出

シソーラスリンクした”電気光学素子”を、全引用文献に対し再抽出し、どの引用文献に出現しているか確認し、クリックしてその箇所を表示します。

当該語句をハイライト表示しますので、周辺を読解しながら反論できそうな箇所をみつけます。

7.クレームチャートを半自動作成！
さらに引用文献の該当箇所をワンクリック表示！

- (1) クレームチャートで本願構成要素と引用文献を比較
- (2) 構成要素毎に分けられた請求項
- (3) 審査官指摘箇所の整理
- (4) 構成要素内の語句に対しシソーラスリンク
- (5) 審査官指摘以外の問題箇所のリストアップ
- (6) 引用文献内の該当箇所の全表示

本願請求項1を、構成要素毎に分けます。

レスポンス版プラス U

各構成要素に関連する引用文献を検索するため、「メニュー」から開きたい引用文献、または「引用文献すべてを開く」をクリックします。

それぞれの構成要素は自動的に色分けされます。

各構成要素に含まれる語句(あるいはその同義語等のシソーラス)がハイライト表示されていますので、これを参考に、構成要素に関連すると思われる箇所のテキストを選択し、右クリックで「選択範囲をクレーンチャートに追加」→対象の構成要素を選択します。

このように審査官が指摘している引用文献の該当箇所を、クレーンチャート内にリストアップしていきます。(これらのクレーンチャートは、CSV形式で出力可能です。)

レスポンス版プラス U

